

イラストで見る 発達障害のある児童生徒の困りごとと支援例①

<p>困り事</p>	 <p>聴覚過敏 嫌な音が大きく聞こえる</p>	 <p>忘れ物、失くし物が多い</p>	 <p>複数の指示を 同時に処理することが苦手</p>
<p>支援例</p>	 <p>イヤーマフの使用 机・イスの脚にテニスボール 校内放送を減らす、しない</p>	 <p>ファイル、付箋紙、メモの利用 置き場所を決める 失敗を責めない、方法を話し合う</p>	 <p>1つずつ指示して活動する 作業をリストにして活用する 作業時間を長く設定する</p>
<p>困り事</p>	 <p>感情のコントロールが難しい</p>	 <p>場面に合った 発言・行動が苦手</p>	 <p>好きなことは 過集中でやり過ぎる</p>
<p>支援例</p>	 <p>対処方法を決めておく (クールダウン、深呼吸) ストレスを減らす、解消する</p>	 <p>相手の受け止め方を 視覚的、協同的に話し合う</p>	 <p>活動時間をスケジュール設定し タイマーや声以外の方法 (肩をたたく)で休憩を知らせる</p>

<p>困り事</p>	 <p>(一時的に)覚えておくことが苦手</p>	 <p>段取り、優先順位を自分で考えることが苦手</p>	 <p>自分の思いを伝えられない</p>
<p>支援例</p>	 <p>記憶できる範囲で1つ1つ情報を入れて活動する</p>	 <p>ToDoをリストにする 優先順位を決めて 段階的な締切日を設定する</p>	 <p>考えをまとめる時間を作る 図や文章を紙にまとめながら話を聴く</p>
<p>困り事</p>	 <p>授業中に落ち着きなく話し続ける</p>	 <p>視覚過敏 目から入る刺激が強い</p>	 <p>整理整頓が苦手 片付けられない</p>
<p>支援例</p>	 <p>話し合いや発表の時間を作る 落ち着いたトーンで約束を伝える</p>	 <p>刺激の少ない休憩場所を作る カーテンを閉め、蛍光灯を消す サングラスをかける</p>	 <p>教師や友人と一緒に片付け 必要ない物を持ち帰る 置き場所を決める</p>

<p>困り事</p>	 <p>短時間で集中が途切れる</p>	 <p>体の使い方がぎこちない 教示とおりに体を動かさない</p>	 <p>もう～、好きにやれば！</p> <p>表情や身振りを見ても 相手の気持ちを推測できない</p>
<p>支援例</p>	 <p>教室内の余計な刺激を減らす 1つ1つの活動時間を短く設定し 話し合いなどの動きを入れる</p>	 <p>まず、この動き</p> <p>うん</p> <p>モデルを見せて、ゆっくり動く できないことを責めない</p>	 <p>他の人の意見も 取り入れてほしいの</p> <p>そうだったのか。 気付かなかったよ ごめんね。</p> <p>見えにくい背景情報、気持ちを 穏やかにはっきりと伝える</p>
<p>困り事</p>	 <p>職員室</p> <p>先生、呼びました？</p> <p>敬語が使えない マナーが守れない</p>	 <p>話し合いはできるけど ノートを書かない</p>	 <p>作業が遅く ゆっくりしている</p>
<p>支援例</p>	 <p>失礼します。</p> <p>いい</p> <p>セリフを教え、見本を見せて 練習し、認める (これを繰り返す)</p>	 <p>本人の相談に乗り、困難さを知る プリントは大きく印刷し、 書く量を減らす</p>	 <p>良いところ探し</p> <p>やさしい</p> <p>まじめ</p> <p>丁寧</p> <p>急がせない、叱らない じっくり取り組める時間を用意し 本人の良いところを認める</p>

イラストで見る 発達障害のある児童生徒の困りごとと支援例④

<p>困り事</p>	 <p>あいまいな話が分からない</p>	 <p>自分の考えを変えない 説得すると反発する</p>	 <p>遅刻を繰り返す</p>
<p>支援例</p>	 <p>実物やイラストなど視覚情報を 加えて具体的に話す</p>	 <p>考えを否定せず 選択肢を提案し、本人が選択する</p>	 <p>就寝・起床時間、朝の身支度など 生活習慣の支援を行う</p>
<p>困り事</p>	 <p>名前と顔を覚えられない</p>	 <p>身だしなみが整えられない</p>	 <p>道具を上手く扱えない 書字が乱れていて読めない</p>
<p>支援例</p>	 <p>座席表を渡す 話し掛けたら名前を言う</p>	 <p>身だしなみチェックリストの活用 一緒に鏡を見て、服装を整える</p>	 <p>目印やガイド線を付ける (学級全体で) ペン字を練習する</p>